

高校3年 授業要項

1. 開講講座の紹介
2. 指導の特徴——指導4本柱
3. 塾の施設について
4. 受講料のシステム

己と向き合い、超克する精神力を。

①4月～7月、②夏期講習、③9月～11月、④直前期と4つの期間に分けてそれぞれに目標を定めて対応をします。高3生の基本は、7割くらいでいいだろう、この程度の演習でいいだろう、という「～だろう」という甘さを消して、得点に貪欲になることです。そのための努力の道筋と授業における徹底した修正と鍛え上げを実施します。

講義と徹底した鍛錬指導により、塾全般の指導が腹を括った覚悟と真剣に向き合うクラスです。

開講講座の紹介

■ クラス授業

指導4本柱

- ・ 専門性に裏打ちされた授業
- ・ 問答授業の活用
- ・ 添削結果を活用した授業
- ・ 自習指導との密な連携



● 各人別の学習スケジュールの設計

少人数に絞り、徹底したコミュニケーションを密に行い、短期的、中期的、長期的な視野で一人一人に最適な学習方針を随時組み立てます。

● 授業から自習の密な連携

授業は授業で「自習は君たちにおまかせ」というスタンスは取りません。授業で向き合った弱点を、即補強し、得点に変える連携した自習指導を行います。

● 得点には常にシビアに向き合う

「7割くらいでいいだろう」「このくらいやればいいだろう」「明日でいいだろう」これらの「だろう」は甘えです。学校なき時分、どこまでも貪欲に得点に向き合い、上昇し、大学進学を勝ち取らんとすることを怠らない姿勢を育てます。

● レベル別クラス編成を実施 2018年度クラス設置

【文系国立クラスH（東大、一橋等）】【理系国立クラスH（東工大、医学部）】

【早慶上智クラス】【ハイレベルクラス（首都大、GMARCH等）】【スタンダードクラス】

※在塾生の状況によって柔軟に変わります。

■ 開講科目

● レベル別クラス編成

西荻塾のクラス授業は、習熟度別・志望校別にクラス分けを行っています。入塾時の学力診断、常時の受講状況、模擬試験の成績等により柔軟に編成します。

科目 授業回数	分野	指導方針
英語 週 1～2	英文法・ 作文	志望校にかかわらず、単文英訳がしっかりできる力を一年通して要求します。その上で、入試問題演習を通じた知識の使い方のトレーニングから始まり、志望校に合わせた対策に移行します。英作文については年間を通して添削指導を行います。また、リスニング指導も含まれます。
	読解・解釈	入試問題を利用した実践的な演習を通して、これまでに身につけた読解の知識を得点に結びつける力を養います。必要な場面で速やかに身につけた知識が活かせるよう演習を重ねます。また、様々なテーマの文章に触れ、読解の補助となる教養的な部分の幅を広げてもらいます。
数学 週 1～2	理系クラス	授業時間を分割し、数学 I A I B の重要テーマの復習と、数学 III を中心とした、徹底した演習講義を実施します。志望に応じて、課題および自習課題を柔軟に設定しています。礎となる計算力に加え、多角的な問題分析力を鍛えます。
	文系クラス	既修分野については積極的に入試問題を利用して深い洞察力を養います。特に、数列、ベクトルについては、他の分野との連携と融合が頻出。学校や教科書では取り扱わない、味わい深い問題を準備してお待ちしています。
国語 週 1～2 センター対策 (理系志望者用) は 9 月から	現代文	主に記述式または高得点の取りにくい選択式の厳選された入試問題を利用して、徹底して読解力と日本語の力を鍛えます。難解な文章も、テンポ良く読解し、同時に知的好奇心をくすぐる古今東西のネタを織り交ぜながら教養に深みを持たせます。1年の目標は、「およそ日本にある論説文ならわたし読める」という自信をつけること。
	古典	年度前半は、記述形式の問題を中心に扱いながら、文法的な知識を意識的に使いこなす習慣を身につけてもらいます。年度後半は、様々なジャンルの文章に触れながら、解答にたどり着くために大きく役立つ古文の背景知識を習得し、志望校別の対策を進めていきます。
	漢文	年度前半は、記述形式の問題を中心に扱いながら、句法の知識を書き下し文と解釈の両方で正確に運用できる力を磨き、同時に漢文特有の文章構成の理解や、現代日本語の用法と異なる漢字の知識などの充実を図ります。秋以降は、入試問題を用いて志望校別の対策を進めていきます。
理科 週 1	物理 化学 生物	理系で勝敗を分けるのは間違いなく理科です。日々の学習で意識的に理科の学習に取り組んでおくことは入試はもちろん、理系で生きていくための基本であると信じて授業を組み立てています。原理原則に忠実に、しっかり考えて解く。最新の入試問題を厳選した演習も積極的に自習課題として課していきます。 ※物理は、志望によっては、解析物理（数学を利用した物理講義）を取り入れます。 ※化学は、無機分野・有機分野を中心に、毎回小テストを実施し、知識がためを平行して行います。 ※生物は、遺伝・生殖・生化学（異化・同化・ホルモン・遺伝子）などを中心に、毎回小テストを実施し、知識がためを行います。
社会 週 1	世界史 地理	私立文系および、国立志望者で論述対策が必要な方、それぞれにカリキュラムを準備しています。いずれにせよ、社会科は分量が膨大ですので、効率よく暗記と理解、そして反復（ここまで入力）、さらには演習（出力）を行っていくバランス感覚が重要となります。図説や用語集の駆使の仕方から、論述であれば教科書の効果的な使い方、さらには自学自習用の演習書等のアドバイスまで一貫して指導を実施します。

● 入塾方法

クラス授業、個別授業ともに、まず、無料の体験授業を受講して下さい。体験授業を通じて、担当講師から現在の状況、今後の見通し等詳細なご説明を事後に差し上げます。

*体験授業の日程等は改めてご相談の上決定いたします。

■ 専門性に裏打ちされた授業

あ、なるほど、と腑に落ちるまで

西荻塾は、受験生が学習の過程で抱く知的好奇心に応えるだけの専門性と素養を十分に身につけた講師達が待っています。「ずっと腑に落ちるその瞬間まで」—いつでも、いつまでも受験生達と語り合う時間を大切にしたいと思います。

微積分やベクトルのふわっとした感じや、なんとなく読む評論文、雰囲気読んでいた英文解釈…是非、教室での専門性に裏打ちされた論理的かつ明快な説明に触れていただき、目から鱗が落ちる瞬間を体験してもらいたいと思います。

解ければいい、では解けないのも事実ですし、受験勉強であっても、知的好奇心に素直になってほしいと考えています。

「わからない！」でも、「もっといいやり方がある！」でも、「この考え方の背景は？」でも、その正直な叫びを徹底して塾という場でぶつけて欲しいと思います。

指導4本柱

■ 問答授業の活用

ソクラテスメソッドによる揺り動かし

西荻塾は、ソクラテスメソッドを取り入れて授業を実施しています。

ソクラテスメソッドとは、生徒と講師で発問、発話等を頻繁にかわしながら、予め予習してきた内容を踏まえ、解答のプロセスの確認や現場思考能力を鍛えていく手法です。「無知の知」で知られるソクラテスに由来しますが、実際、塾生たちは予習である程度の解答を作っても、意外に問答に窮することはしばしば。その「意外」性に実は、弱点だったり、無理解だったりが見れていることがある。無知の知とまではいきませんが、こうした知的トレーニング（揺り動かし）こそ、ソクラテスメソッドの最大の利点です。

4本柱の2本、「添削のための答案」を素材に、「専門力」のある講師が、教室を徹底した訓練の場に変えていきます。頭をフル回転しながらも、あっという間の授業時間で鍛え上げていきます。

■ 添削結果を活用した授業

答案に全てが現れる。答案で決まる。

試験会場でのコミュニケーション手段は、答案用紙と受験生が握った筆記具のみ。大学入試共通テストでも、記述式が導入されます。

たとえば、いわゆる「自由英作文」を課す大学。難関大とよばれる大学では当たり前となりました。しかし、これを英作文の授業で扱うとして、添削抜きにどう講義をするというのでしょうか。そして、添削結果に目を通さずして、目の前の塾生たちに効果的に授業が出来るのでしょうか。

西荻塾は、効果的な授業を行うために、実際に授業を担当する講師が授業前に直接添削を実施します。添削は、機械的なものとどまらず、記述の方法から、内容の深さに至るまで、入試で求められる記述力を添削によって徹底して鍛えます。さらに、添削後すぐに授業で活用することが前提となっていますので、提出と復習がタイムラグなくして可能です。

■ 自習指導との密な連携

自習なくして、結果は伴わず。

西荻塾では、授業のみならず、授業外の時間帯において、それぞれ一人一人の塾生の志望に合わせて、各人別の指導をさらに強化していきます。自習のやり方、科目別のエネルギーの配分、長期休暇の過ごし方、日々の時間の使い方や進路の相談、直前期何を優先すべきか…もろもろと、受験生の悩みに正面切ってぶつかっていく体制です。単なる「授業屋さん」ではない、君たちと一緒に戦っていく当塾専任講師たちが、対話を繰り返し、塾生たちと授業内外でがっちりとした信頼関係を築き上げていきます。

授業を担当する講師が直接自習にメスを入れることがどれだけ効果的か。西荻塾は創立以来、これずっと貫いてきました。

自習なくして、結果は伴わず。机について、すぐに実のある学習を自分で行えるようになる。これが目標です。

塾の施設について

■ 常設自習室完備 毎日でもご利用ください

西荻塾では、常設の自習スペースを確保しています。受験生や定期試験前を中心に多くの生徒が利用しています。ピリッと張り詰めた空気感のなかで、充実した設備のもと、自習が可能です。

また、講師を捕まえていつでも質問等可能です。自習のやり方もいつでも聞いて欲しいと思います。

※休日利用については、セキュリティシステムの運用上、事前手続をお願いしています。



■ 演習システム整備

小テスト・演習はいつでも可能

西荻塾では、生徒用の演習システムを整備しています。授業中には、各種小テスト等が実施されますが、準拠教材をベースに、独自データベースアプリを構築し、出力できるようにシステムを構築しています（当塾でプログラムを組んでいます）。このアプリを操作し、自由に生徒が小テストを作成し、演習できるようにしています。単語テストや英文法、計算テストなど、コツコツと積み上げていきましょう（利用料無料）。

※高校2年2学期以降は、各種入試問題演習についてもご利用が可能になります（こちらをご利用の場合は、別途システム維持・印刷費500円/月がかかります）。

受講料のシステム

■ クラス授業の受講料（税込表示）

学年	講座数	授業時間/週	受講料/月額	年間一括前納	半期一括前納
高3	1講座ごと	90分×1	17,500円	169,750円	85,750円
	3講座以降の割引	<ul style="list-style-type: none"> ■ 受講科目全科目に適用 3講座…総額から5%割引 4講座…総額から7%割引 5講座…総額から10%割引 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一括納入の割引率 年間一括 総額より3% 半期一括 総額より2% ※複数科目割引適用後総額に一括納入割引を適用 		
	60分授業	60分授業の場合は、上記受講料設定の66%扱いです。また、複数口座割引においても、1講座として取り扱います。			

※一括納入において、授業が早期（12月以前）に完結する科目は、135,800円（80%）となります。

※月謝は8月を除く毎月必要となります。一括前納が可能です。

※夏期の季節講習会は授業回数異なりますので費用が異なります（講習会費用は、通常クラス授業の水準で、授業回数に応じて変動します。こちらは一括納入方式の対象外です）。

※授業回数は各講座ごとに4～7月に13回、9～翌年2月に21回合計34回のカリキュラム実施いたします（8月は夏期講習会のカリキュラムとなります）。

※途中入会の場合は、入会月の月謝の金額について、年間授業回数に基づいて均等割の計算をいたします。なお、半期（年間費用の半分相当）以上年間未滿を一括納入される場合には、半期一括の割引計算を適用させていただきます。

【西荻塾（高3）では冬期・直前講習は、1・2月分受講料を充当します】

通常の高校3年生の塾や予備校では、通常の授業とは別枠・別料金にて冬期・直前講習会を実施しますが、西荻塾では、冬期・直前講習における高3生の入塾を許可していませんので、冬期講習会として外部生にもオープンなコースは設定していません。

● 受験生本人の学習姿勢・状況に応じて適切に時間割編成を実施しています。

10月より各生徒別に実施する個別面談、模試の結果等に鑑み、受験日程を勘案した上で、1・2月に実施される予定の授業を前倒し実施し、より効果的に授業・演習ができるように編成を柔軟に行っています。集中講義に充当する形で実施をしておりますので、通常と異なる時間割になることはありますが、毎月ごとの受講料の水準は変わりません。受講科目の変遷についても、柔軟に対応しておりますので、年度途中で受講科目が変わったり、センター試験以後に授業が不要になる場合その他、また、学力向上に鑑み、受講の必要性がないと前向きに判断する場合などは差額の調整によって対応しておりますので、ご安心ください。

例) 国立理系志望者 英語・数学・化学・センター国語

→センター国語については、12月完結のため、1・2月分受講料は不要。

※一括納入の場合も、事前にお知らせいたします。

例) AO等入試で合格が早まった場合

→残月につき、ご返金等の対応をいたします。

● そのほかにかかる費用

■ 入塾金30,000円

※ご紹介の場合は、10,000円を割り引きます。

■ 教材費（年間）高1,2生10,000円/1科目

※教材費は、テキスト代・塾内テスト代等に充当します。

※英語、数学について、その細分については、科目とはいたしません（「英文法と英文解釈」を受講しても、英語1科目とします）。

※年度途中の場合は、7月まで同額、8月以降は実費でのご請求となります。

■ 指導充実費（施設維持費等含む）前期・後期の2分割でご請求いたします

前期（4月～8月末）30,000円

後期（9月～2月末）30,000円

※3月分は不要です。

※一括納入も可能です。

※コピー代、自習室維持費、教室運営費等のほか、授業外の時間帯を利用した自習指導、随時の進路相談等が含まれています。

※期間途中でのご入会の場合は、月割りで計算いたします。

■ 演習システム利用費（月額）500円 ※オプション（高2生は9月以降）

西荻塾では、生徒が自由に演習問題などを印刷し、自習に取り組んでいただくための演習データベースがあります。授業内の小テストや過去問、その他各種演習問題が多数生徒用PCに格納されており、自由に利用していただけます。印刷費及びデータ作成・メンテナンス費として月額500円を申し受けます（利用の制限はありません）。

※一括納入の際は、納入期間に合わせ、上記費用もまとめてご請求いたします。なお、一括納入される場合でも、上記費用には各種割引はございませんのでご了承ください。

● 兄弟・姉妹で在籍される場合は、兄弟・姉妹割引があります。

・当塾にすでにご兄弟・ご姉妹が通塾されている場合は、各学年所定の入会金額より全学年一律20,000円を割り引きます。

・小中学生のご兄弟姉妹がいる場合、高校生が2講座以上受講の場合、ご兄弟姉妹の月額授業料の25%を6ヶ月間割り引きます（講習期間以外）。

・高校生のご兄弟姉妹がいる場合、お一人が2講座以上受講の場合、ご兄弟姉妹の2講座目以降の授業料の25%を6ヶ月間割り引きます（講習期間以外）。

■ 個別指導（授業4回あたり）

対象学年	授業時間（分）	授業回数	受講料
高3	完全個別90分	4回あたり	30,000円
	クラス併用割引 ※上記より4,000円引		

●完全個別とは、授業時間すべて1対1（マンツーマン）による授業です。講師が他の生徒を担当しながらという形式ではありません。

●受講料は、1ヶ月あたりの受講回数によって決定します。上記金額は、1ヶ月に90分授業を4回授業を実施した場合の金額であり、実際には、実施回数によって均等割で計算します。

●隔週で受講したい、試験前に集中して受講したい、等の個別的なニーズにも幅広く対応しています。

●クラス授業に準じて、入塾金、教材費、指導充実費がかかります。

●春期、夏期、冬期の季節講習会期間中も、日程、授業回数等は柔軟に対応します。

●個別授業受講者には、時期等により、受験に備えるため、途中からクラス授業への移行をおすすめすることがあります。

西荻塾（にしおぎじゅく）

杉並区西荻南3-9-11 フロンティア EXビル3階

(JR 西荻窪駅南口徒歩1分)

TEL 03-3334-5415 mail: office@nishogi-juku.jp